



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2016年9月30日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、10月5日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィ、アラン・メイン氏を エグゼクティブ・バイスプレジデント コンシューマー・ヘルスケア担当 およびエグゼクティブ・コミッティーメンバーに任命

フランス、パリ — 2016年9月30日 — サノフィは、アラン・メイン(Alan Main)氏を2016年10月1日付で、エグゼクティブ・バイスプレジデント コンシューマー・ヘルスケア担当に任命することを発表しました。メイン氏はエグゼクティブ・コミッティーの一員として、新たに設立したコンシューマー・ヘルスケアグローバルビジネスユニットを率います。

メイン氏は、直近では、バイエルメディカルケアにおいてグローバル・プレジデントとして活躍されました。サノフィでは、コンシューマー・ヘルスケア(CHC)領域におけるサノフィのリーディングポジションを確立し、維持する責務を担います。これには、予定されているサノフィとベーリンガーインゲルハイム社のCHC事業の統合も含まれます。両事業の統合を通じて、数多くのブランドを含むより幅広いポートフォリオが得られることにより、サノフィは、グローバルレベルでより多くの消費者に製品をお届けすることができるようになります。本取引により、サノフィは、ロードマップ2020の主な戦略的目標の1つであるCHC分野でグローバルリーダーとなり、多様な事業を運営するグローバルヘルスケア企業へと成長していくという目標を達成しつつあります。取引の完了は、2016年末を見込んでいます。

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディクールは、次のように述べています。「アランは、コンシューマーヘルス領域での幅広い経験を活かし、サノフィのCHC事業の未来を築いてくれると確信しています。非処方箋薬の市場についての深い理解、そして患者さんや消費者へのターゲティング・アプローチに関する確固たる知識と共に、サノフィの経営戦略の実践を支え、エグゼクティブ・コミッティーはもちろんのことサノフィ全体に価値ある貢献をしてくれるでしょう」

メイン氏はスコットランド出身の英国籍。コンシューマーヘルスと医療機器分野で30年以上に亘り、マーケティングと事業管理に携わってきました。Stafford Miller/Block Drug(現在はGSKの一部門)を皮切りにメレン・ダウ(現サノフィ)とLondon Rubber Companyなどで活躍し、1992年にロシュコンシューマーヘルスに参加、主に英国、南アフリカとアジア太平洋地域で上級職を担ってきました。2004年にバイエルがロシュコンシューマーヘルスを取得した後も、アジア太平洋地域と欧州におけるリージョンヘッドなどの主要な役職を歴任しました。2010年、バイエルの医療機器事業に移り、バイエルメディカルケアのグローバル・プレジデントに着任しました。

メイン氏は、ロンドンのテムズ・ポリテクニクで国際マーケティングの学士号を取得。ロンドン、ハーバード、コロンビアの各ビジネススクールならびにINSEAD(アジア)において各種のエグゼクティブ・リーダーシップ育成プログラムを修了しています。

以上



サノフィについて

サノフィは、グローバルヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。5つのグローバルビジネスユニット(糖尿病および循環器、ジェネラルメディスンと新興市場、サノフィジェンザイム、サノフィパスツール、メリアル)で組織され、パリ(EURONEXT:[SAN](#))およびニューヨーク(NYSE:[SNY](#))に上場しています。

サノフィ今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィの2015年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。